測技協40周年 創立40周年記念誌と40年史の発刊について

公益財団法人日本測量調査技術協会は、1976（昭和51）年10月に発足した任意団体写真測量調査技術協会を前身に、任意法人日本測量調査技術協会を経て、1980（昭和55）年2月に関係官庁のご指導と関係団体の賛同を得て、財団法人として設立を許可され、公益法人格を持った技術協会としてスタートしました。2012（平成24）年3月に、内閣総理大臣から認定を受け、同年4月に公益財団法人日本測量調査技術協会に移行し、より公益性の高い活動を行っています。

先端測量技術の研究開発と標準化を通じて、技術と社会とをつなぐ橋渡しの役割を果たしてきた当協会は、2020（令和2）年2月に創立40周年を迎えました。デジタル化とIT革命を背景とした技術革新、災害対応やインフラ整備・維持管理、社会・経済の変化を見据えた協会運営改革など、様々な領域に測量調査技術を拡げ、昭和、平成、令和と時代を切り拓いてきました。

協会活動の記録は、1990（平成2）年2月に『測技協10年のあゆみ』として取りまとめましたが、その後30年間、年史は作成してきませんでした。したがって、今回の40年史は、その30年間を中心に取りまとめることになりました。

『創立40周年記念誌』（オールカラー版）では、「先端測量技術と標準化の変遷そして未来への展望」を特集テーマとして、次の9分野を各々担当する委員会・技術部会が、それぞれとりまとめました。

- 1) デジタル測量技術の変遷と標準化（技術委員会/空中計測・マッピング部会）
- 2) GPS/GNSS技術の変遷と利活用の進展（位置情報・応用計測部会）
- 3) GISの歴史とその普及（GIS部会）
- 4) 災害撮影と国土管理の変遷（国土管理・コンサル部会）
- 5) 技術普及活動の足跡（技術普及部会）
- 6) 標準化と入札・契約制度の変遷～標準積算を中心に～（事業委員会）
- 7) 地理情報の標準化の歴史（GISセンター）
- 8) 地理情報標準認定資格（S-GI-Cert）の歴史（講習・試験委員会）
- 9) 検定推進センターの10年のあゆみ（検定推進センター）

これら分野毎の変遷と時代背景、協会の運営を俯瞰し、多面的に考察できる「総括年表」を作成し、巻末に綴じ込みました。さらに、委員会、技術部会の活動報告も併せて掲載しています。

一方『40年史 測技協40年のあゆみ』（モノクロ版）は『測技協10年のあゆみ』の記載を踏襲し、協会運営の概要を取りまとめるとともに、公益財団法人への移行時に承認された公益目的事業における次の活動について記録しています。

- ア. 技術研究（技術委員会・部会活動報告、外部委員会、受託研究実績等）
- イ. 技術普及（技術普及部会、編集委員会活動報告、測量調査技術発表会の概要、機関誌、図書の発行、研修会・シンポジウム・セミナー、測量CPD等）
- ウ. 地理情報の標準化（ISO/TC 211国内委員会・幹事会、国際総会）
- エ. 地理情報標準認定資格（講習・試験の実施と資格登録・更新）
- オ. 品質検定（基本測量・公共測量成果の検定、表彰）
- カ. 災害時緊急撮影（指定行政機関・公共機関との災害協定、発災時の緊急対応社の調査）
- キ. 表彰（測量調査技術発表会における表彰）

年史資料として、役員の変遷、委員長・技術部会長の变遷、歴代役員等の一覧、歴代功労者表彰者一覧、役員・評議員・委員会/部会員名簿・会員名簿、年表（主要行事と社会動向）を作成しました。

記念誌、年史の発刊に当たっては、業務執行役員からの挨拶と関係行政機関、団体から頂戴した祝辞を掲載しました。これらの資料が今後の協会運営と会員企業の経営の一助に、そして、測量調査技術のさらなる発展と未来への展望に繋がることを期待します。